

# 震災に関連する資料を ご寄贈ください

## こういうものを集めています

- 被災時や復興についての写真、映像、各種記録など
- 各組織で発行している報告書、計画書、記録集など
- 相談会、セミナー、イベントなどの配布資料やチラシ、フリーペーパーなど
- 被災地への応援メッセージ等の博物資料など
- 学校だより(同窓会・PTA)、会報、広報誌など
- 儀式での式辞、あいさつ、祝辞、送辞、答辞、誓いのことばなど

※デジタルデータでも、印刷された資料でも集めています。  
※すでにほかのサイトなどで公開されているものも集めています。  
※震災を振り返ってつくったものや、復興についての資料も集めています。

## 寄贈から公開までの流れ

- ①寄贈のご連絡\_\_\_\_\_宮城県図書館 震災文庫整備班 へご連絡いただきます。
- ②受入の可否判断\_\_\_\_\_資料の内容や状態を確認し、受入できるかを図書館が判断します。
- ③手続き(資料情報)\_\_\_\_\_資料の情報をご記入いただきます。
- ④手続き(許諾)\_\_\_\_\_資料の複製・公開・利用について許諾書にご記入いただきます。
- ⑤Webサイトで公開\_\_\_\_\_個人情報や第三者の権利に配慮した上で図書館が公開します。

## よくある質問

- Q1 資料を手元に残しておきたいのですが。  
A1 宮城県図書館に資料の所有権を移転せず、デジタル化した後に、デジタルデータのみ寄贈することもできます。
- Q2 許諾書の記入はなぜ必要なのでしょうか。  
A2 震災の記憶を風化させず、今後の防災・減災対策や教育等に使うためには、なるべく簡単な手続きで使えるようにしておく必要があります。資料を公開する前に権利を持っている人と図書館が許諾書を交わすことで、一定のルール の範囲内であれば、特別な手続きをしなくても資料を使えるようにしています。
- Q3 利用に当たって条件をつけたいのですが。  
A3 資料の公開及び利用などについて、閲覧のみでダウンロードを許可しないなど、条件をつけることもできます。また、提供者名の表示方法(希望する団体名など)についても指定できますのでご安心ください。
- Q4 寄贈しようかと思っているけれど、もう少し詳しく話をききたい。  
A4 ご検討に際し、ご不明な点などがありましたら、下記までご連絡ください。

宮城県図書館 震災文庫整備班  
〒981-3205 宮城県仙台市泉区紫山1-1-1  
TEL:022-377-8498 E-mail:librarysb@pref.miyagi.lg.jp



※Webサイトの「お問合せフォーム」から、各自治体にお問合せすることもできます。  
くわしくはトップページ上部の「ご利用ガイド」内「1.2各自治体ページについて」をご覧ください。  
[https://kioku.library.pref.miyagi.jp/index.php/ja-top-guide.html#kakuzichitai\\_page](https://kioku.library.pref.miyagi.jp/index.php/ja-top-guide.html#kakuzichitai_page)

# 東日本大震災 アーカイブ宮城

～未来へ伝える記憶と記録～

<https://kioku.pref.miyagi.jp>

東日本大震災  
アーカイブ宮城  
～未来へ伝える記憶と記録～

文字サイズ:    言語:

東日本大震災アーカイブ宮城とは



「東日本大震災アーカイブ宮城」は宮城県内の震災アーカイブです。

各自治体が管理する情報を見る

読みから探す

- 宮城県
- 石巻市 岩沼市 大崎市 大郷町
- 大瀬村 大河原町 女川町 角田市
- 加美町 川崎町 栗原市 気仙沼市
- 蔵王町 塩釜市 色麻町 セツ信町
- セツ信町 原田町 白石市 仙台市
- 大和町 多賀城市 喜多市 登米市
- 名取市 栗原市 松島町 丸森町
- 美里町 南三陸町 村田町 山元町
- 利府町 涌谷町 亶理町

地図から探す



※1 資料の提供のみ  
※2 システム連携していませんので、検索結果はできません。

東日本大震災アーカイブ宮城は、  
2011(平成23)年3月11日から  
記録された出来事を、  
宮城県内すべての自治体と連携・協力して  
次の世代へ伝えるアーカイブです。



東日本大震災アーカイブ宮城  
<https://kioku.library.pref.miyagi.jp>

2020.4  
宮城県図書館

## 「東日本大震災アーカイブ宮城」とは

東日本大震災に関する記録・資料等を見ることができるウェブサイトです。  
(<https://kioku.library.pref.miyagi.jp>)

震災の記憶の風化を防ぐとともに、  
今後の防災・減災対策や防災教育等に役立てることを目的として、  
2015(平成27)年6月から公開しています。

震災の記録等のポータルサイトである  
「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(愛称:ひなぎく)」(<http://kn.ndl.go.jp>)  
とも連携しているため、「ひなぎく」からのコンテンツ検索も可能です。

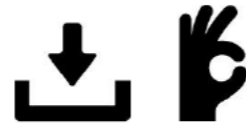
## 特徴

宮城県と県内の自治体が連携・協力し\*1  
震災に関する幅広いコンテンツを  
約22万件\*2掲載



\*1 33市町村と連携、2市町と協力して提供・運営しています。  
\*2 2019(令和元)年10月31日現在。

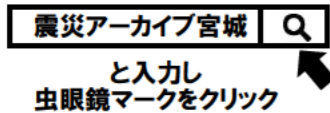
利用規約の範囲内であれば、  
コンテンツのダウンロードや  
パワーポイントへの生成が簡単に可能



町内会等での防災資料作りや  
各種記録集の作成などに  
活用できます

## アクセス方法

1. 検索サイトから



2. 宮城県図書館ホームページから  
(<http://www.library.pref.miyagi.jp>)



3. 下記QRコードから

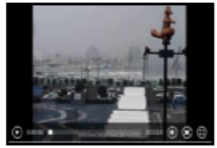


## コンテンツ例

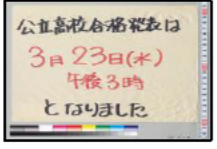
写真



動画



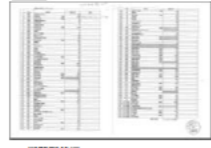
チラシ



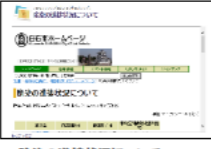
文書



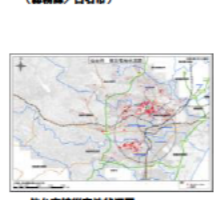
文書



オンライン資料



応援メッセージ  
(博物館)



応援メッセージ  
(博物館)



## 「震災ナビ」とは

「東日本大震災アーカイブ宮城」のコンテンツを  
その場で体験するためのアプリです。

① 所在地の近くにどんなコンテンツがあるか、  
そのコンテンツの場所まで矢印で道案内をする  
「コンテンツナビゲーター」

② 津波浸水域で、東日本大震災当時の  
津波の高さがわかる  
「津波シミュレーター」 をご利用いただけます。

「震災ナビ」は  
AppStoreまたはGooglePlayから無料でダウン  
ロードできます。

※別途通信料が必要です。



## 使い方

① AppStoreまたはGooglePlayから「震災ナビ」アプリをダウンロードします。\*別途通信料が必要です。

② 「震災ナビ」アプリ を起動します。

③ 「コンテンツナビゲーター」または「津波シミュレーター」のどちらかをえらびます。

## コンテンツナビゲーターの使い方



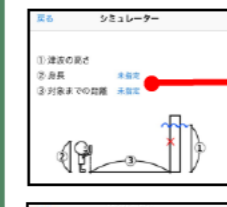
① 所在地の地図上に  
赤いピンでコンテンツの場所  
が出ます。見たいコンテンツを  
えらびます。

② フキダシが開きます。  
フキダシ内の画像にふれると  
画像が大きくなります。

③ 画面下にある  
「詳細ページを開く」  
にふれると、  
「東日本大震災アーカイブ宮城」  
に移動します。  
「東日本大震災アーカイブ宮城」  
では、コンテンツの情報をさら  
に詳しく見ることができます。

④ 初めの画面に戻り  
「案内開始」にふれると、  
コンテンツの撮影された場所  
まで矢印で案内します。

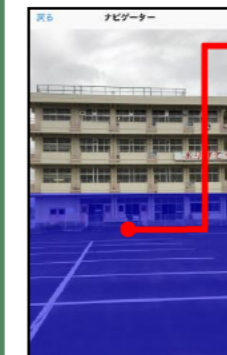
## 津波シミュレーターの使い方



① 自分の身長と  
対象までの距離を入力します。  
その場所での津波の高さが  
自動入力されます。



② 目印にする場所にデバイスの  
カメラを向け、照準をあわせませ



③ 実際の建物の上に、その場所  
で観測された津波の高さが青く  
表示されます。

※津波被害エリア外で  
津波シミュレーターを起動すると  
「ここは津波被害エリアでは  
ありません」といった  
エラーメッセージがでます。